

令和3年度長岡市地方創生推進会議幹事会（書面会議）

実施結果

意見募集期間	令和3年10月14日（木）～10月28日（木）
幹事会委員	<p>長岡商工会議所 事務局次長 長谷川 和明 長岡地域商工会連合 事務局長 武士俣 利一 長岡公共職業安定所 業務部長 石田 朗子 長岡技術科学大学 総務課長 山田 毅 長岡工業高等専門学校 事務部長 西村 泰雄 長岡造形大学 事務局長 久島 芳尚 長岡崇徳大学 学長 森 啓 長岡大学 事務局長代行 丸田 一嗣 商工組合中央金庫 長岡支店 支店長 黒田 直洋 大光銀行 地域産業支援部副部長 柏櫓 学 第四北越銀行 コンサルティング事業部 長岡地区統括担当部長 小林 幹央 長岡信用金庫 営業推進部長 鈴木 和明 新潟県信用組合 長岡支店 支店長 杉木 直人 日本政策金融公庫 長岡支店 支店長 浅沼 靖司 連合新潟中越地域協議会 事務局長 小林 守 新潟日報社 執行役員長岡支社長 大塚 清一郎</p> <p style="text-align: right;">※敬称略、各分野・五十音順に掲載</p>
議題	<p>(1) 第2期長岡版総合戦略の進捗状況について (2) 地方創生関連の交付金等の効果検証について</p>
意見内容	
(1) 第2期長岡版総合戦略の進捗状況について	
委員	<p>コロナ禍で県内定着が進んでいる傾向は、私共の私立大学にとりましても、少なくとも令和3年度では1つの追い風となっていたかもしれません。これを機会に更なる魅力発信を展開し、ポストコロナにおいても、引き続き魅力ある大学として活動して参る所存です。大きな課題として、学生そしてご家庭にとって大きな関心事障壁となっている点として、学費の工面と通学・下宿の生活手配と考えております。私共は勿論、精一杯の支援をさせて頂いておりますが、行政からの御支援は、これらの懸念事項を軽減し、若者の地元地域への定着を推進する大きな原動力となることは間違いございません。人口減少問題を解決する確実な一助ともなる重要な一石をご検討頂けましたら誠に幸甚でございます。</p>
委員	<p>数値目標について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、観光関係を中心に大きく下回ったものがありました。令和3年度も同様の傾向が見込まれます。令和4年度もおそらく、従前の状況とはならない可能性が高いです。こうした</p>

	<p>ことを踏まえ、新型コロナウイルスの影響を加味した数値目標の修正を図る必要があるかどうか議論すべきだと考えます。</p>
<p>(2) 地方創生関連の交付金等の効果検証について</p>	
<p>委員</p>	<p>数値目標について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、観光関係を中心に大きく下回ったものがありました。令和3年度も同様の傾向が見込まれます。令和4年度もおそらく、従前の状況とはならない可能性が高いです。こうしたことを踏まえ、新型コロナウイルスの影響を加味した数値目標の修正を図る必要があるかどうか議論すべきだと考えます。(再掲)</p> <p>新型コロナウイルスの影響で実績なしの項目について、見直しをするか否か、検討する必要があるのではないのでしょうか。</p>